

2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月13日

上場会社名 株式会社フォーサイド 上場取引所 東
コード番号 2330 URL https://www.forside.co.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大島 正人
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 飯田 潔 TEL 03 (6262) 1056
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	3,659	2.5	5	△89.5	7	△84.7	△25	—
2023年12月期第3四半期	3,570	△1.7	56	—	50	—	48	—

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 △26百万円 (—%) 2023年12月期第3四半期 52百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	△0.67	—
2023年12月期第3四半期	1.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期第3四半期	5,863	2,126	36.3	52.40
2023年12月期	4,448	1,575	35.4	41.82

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 2,126百万円 2023年12月期 1,575百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 2024年12月期の期末配当は今後の業績見通し等を踏まえて判断することになっているため未定であります。

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,079	5.4	28	△45.4	26	△41.1	44	△61.2	1.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正につきましては、本日（2024年11月13日）公表の「特別利益（関係会社株式売却益）の計上見込みおよび通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。また、当社は前連結会計年度終了後、新株予約権の権利行使により発行済株式数が増加しております。2024年12月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、発行済株式数の増加の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年12月期3Q	40,599,704株	2023年12月期	37,687,704株
2024年12月期3Q	22,374株	2023年12月期	20,494株
2024年12月期3Q	38,148,604株	2023年12月期3Q	33,233,314株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び本資料の発表日現在において合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は今後の様々な要因によって予想と大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(収益認識関係の注記)	11
(重要な後発事象の注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、賃上げや雇用環境の改善、インバウンド需要の回復、日経平均株価が史上最高値を更新する等、明るい兆しが見られる一方で、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の緊迫化、インフレに対する各国の金融引き締め動き等があり、景気に対する先行きは依然不透明な状態が続いております。

当社グループの事業領域であるプライズ事業を含むアミューズメント市場におきましては、外国人観光客の増加や技術の進化などに伴い、アミューズメント施設の集客も好転しておりますが、引き続き人件費の高騰や電気料金の度重なる値上げによるコストの増加等、厳しい事業環境が続いております。

住宅市場におきましては、2024年9月の新設住宅着工戸数が前年同月比0.6%の減少となり、前年同月比で5ヶ月連続の減少となりました。また、新設住宅着工床面積においても、前年同月比で2.3%の減少となり、前年同月比で5ヶ月連続の減少となっており、引き続き注視が必要です。

このような経済状況の中、当社グループにおいては、主力事業であるプライズ事業・不動産関連事業を中心に事業収益の拡大を図ってまいりました。また、当第3四半期連結累計期間において、AI関連並びに物流関連における新たな事業を開始するなど、新たな市場に対して挑戦し、当社グループの収益性・付加価値の向上に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は3,659,955千円（前年同期比2.5%増）、営業利益は5,944千円（前年同期比89.5%減）、経常利益は7,650千円（前年同期比84.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は25,663千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益48,798千円）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

① プライズ事業

プライズ事業につきましては、株式会社ブレイクがクレーンゲーム機等のプライズゲーム用景品の企画・製作・販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、キャラクターグッズや雑貨系商材を中心に受注件数が堅調に推移いたしました。また、円安進行にともなう外国人観光客の需要増加なども要因となり、売上高は前年同期を上回りました。一方で、円安進行により輸送費や原材料費が高騰する中、より一層のコスト低減にも努めてまいり、セグメント利益は増加いたしました。

以上の結果、売上高は2,110,190千円（前年同期比4.9%増）、セグメント利益は175,516千円（前年同期比8.1%増）となりました。

② 不動産関連事業

不動産関連事業につきましては、日本賃貸住宅保証機構株式会社が家賃保証業務及び物件管理業務等を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては顧客（不動産会社・賃貸人・賃借人）に寄り添った丁寧な対応に努めてまいりました。営業面においては、家賃債務保証事業における保証料収入に係る新規獲得は、営業強化・拡大によって前年同期を大きく上回る結果となりました。しかし、同事業の売上収益の計上においては、初回保証料・更新（年間）保証料は保証期間にわたって期間按分計上としており、新規獲得に伴う代理店委託手数料は、支出確定時に全額を費用処理としていることから、新規獲得件数が増加したことに伴い大幅な費用発生となったことに加えて、費用面においては、滞納者増加等に伴う求償権回収に係る原価及び貸倒引当金繰入額が増加しております。

以上の結果、売上高は1,226,500千円（前年同期比2.4%増）、セグメント損失は19,669千円（前年同期はセグメント利益55,650千円）となりました。

③ コンテンツ事業

コンテンツ事業につきましては、株式会社ポップティーンが電子書籍配信サイト「モビぶっく」の運営を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、電子書籍配信サイト「モビぶっく」において費用対効果の高いプロモーション施策を継続することで、新規顧客の獲得に努めてまいりました。また、既存ユーザーに対しては、取扱い作品数の拡充やサイトのユーザビリティの向上を図ることで、顧客継続率を高めるための施策を行い、売上高は前年同期を上回ったものの、一方で、引き続き広告宣伝費等の抑制に努めてまいりましたが、セグメント損失は増加いたしました。

以上の結果、売上高は60,615千円（前年同期比4.2%増）、セグメント損失は13,026千円（前年同期はセグメント損失11,350千円）となりました。

④イベント事業

イベント事業につきましては、株式会社ブレイクが各地の大型商業施設の催事場にて著名なコンテンツの展示販売を中心に行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、前年同期において開催された「PSYCHOVISION hide MUSEUM Since 2000」などの大型イベント開催がなかったことが大きく影響し、売上高は前年同期を大きく下回り、セグメント損失は増加いたしました。

以上の結果、売上高は74,042千円（前年同期比53.6%減）、セグメント損失は26,996千円（前年同期はセグメント損失3,705千円）となりました。

⑤マスターライセンス事業

マスターライセンス事業につきましては、主に株式会社ポップティーンが出版事業を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、女子小中学生向け雑誌「Cuuga1」のイメージモデルを務めるかんちゃん及び望蘭ちゃんに加え、大人気クリエイターのしなこさんを起用することにより、更なるブランド認知度向上を図ってまいりました。また、「Popteen」においては、2024年8月に「Popteenばちかわフェス2024」を開催し、多くの読者にご来場いただきました。さらに、前連結会計年度にWEBマガジンへトリニューアルを行い、引き続き制作コストの削減に努めてまいりましたが、利益を確保するまでには至りませんでした。

以上の結果、売上高は136,643千円（前年同期比4.3%減）、セグメント損失は3,045千円（前年同期はセグメント損失10,151千円）となりました。

⑥AI関連事業

AI関連事業につきましては、2024年2月16日に子会社である株式会社AI Tech Solutionsを設立したことに伴い、第1四半期連結会計期間より開始しており、当該子会社がAIを活用した事業効率化ツールの開発、AI開発支援向けGPUサーバーの販売代理を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、顧客との間で事業効率化ツール開発の受注に係る契約締結があり、現在開発を進めております。当該開発に係る売上および原価は、本ツールの顧客への引渡し完了した時点で認識する予定です。一方で、GPUサーバーの販売代理による手数料収入を計上いたしました。

以上の結果、売上高は22,200千円、セグメント利益は16,002千円となりました。

⑦物流関連事業

物流関連事業につきましては、2024年8月1日に株式会社エムを完全子会社化したことに伴い、当第3四半期連結会計期間より事業を開始しており、当該子会社が一般貨物自動車運送事業並びに貨物利用運送事業を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、貨物利用運送事業の業績が好調に推移しており、また、一般貨物自動車運送事業につきましても、新たな顧客の獲得に伴い、売上が順調に推移しております。

以上の結果、売上高は29,763千円、セグメント利益は16,204千円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

①総資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べて1,415,167千円増加し5,863,590千円となりました。主な要因といたしましては、現金及び預金の増加925,980千円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加246,249千円、代位弁済立替金の増加172,557千円、収納代行未収金の増加122,624千円等によるものであります。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末に比べて863,805千円増加し3,736,902千円となりました。主な要因といたしましては、短期借入金の増加206,000千円及び未払金の増加165,125千円、支払手形及び買掛金の増加87,279千円、前受収益の増加81,622千円等によるものであります。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末に比べて551,362千円増加し2,126,688千円となりました。主な要因といたしましては、新株予約権の行使による資本金の増加288,908千円、資本剰余金の増加288,908千円及び親会社株主に帰属する四半期純損失25,663千円を計上したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期第3四半期決算の実績を踏まえ、「2023年12月期決算短信」で公表いたしました2024年12月期の通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2024年11月13日）公表の「特別利益（関係会社株

式売却益)の計上見込みおよび通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、本資料に記載されている業績予測等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績等は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,190,615	2,116,596
受取手形、売掛金及び契約資産	629,363	875,612
商品	243,745	186,393
短期貸付金	24,115	29,131
収納代行未収金	1,405,260	1,527,885
代位弁済立替金	477,538	650,096
その他	92,054	219,419
貸倒引当金	△408,388	△580,592
流動資産合計	3,654,304	5,024,543
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	116,408	124,731
土地	96,286	96,286
その他（純額）	15,118	59,062
有形固定資産合計	227,813	280,080
無形固定資産		
ソフトウェア	18,539	16,463
その他	18	18
無形固定資産合計	18,557	16,481
投資その他の資産		
投資有価証券	178,719	178,719
長期貸付金	283,688	268,931
敷金	61,342	71,910
長期未収入金	7,187	7,187
その他	24,224	23,129
貸倒引当金	△7,413	△7,393
投資その他の資産合計	547,747	542,485
固定資産合計	794,118	839,047
資産合計	4,448,423	5,863,590

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	133,958	221,238
短期借入金	—	206,000
未払金	1,346,008	1,511,134
未払法人税等	33,041	38,277
前受収益	513,744	595,366
1年内返済予定の長期借入金	103,658	109,344
債務保証損失引当金	82,900	86,450
賞与引当金	—	12,000
その他	248,819	590,870
流動負債合計	2,462,131	3,370,681
固定負債		
長期借入金	394,152	346,314
その他	16,813	19,906
固定負債合計	410,965	366,220
負債合計	2,873,097	3,736,902
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	298,908
資本剰余金	464,518	753,427
利益剰余金	1,102,335	1,076,672
自己株式	△3,877	△4,492
株主資本合計	1,572,976	2,124,516
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,349	1,646
その他の包括利益累計額合計	2,349	1,646
新株予約権	—	524
純資産合計	1,575,326	2,126,688
負債純資産合計	4,448,423	5,863,590

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
営業収益		
売上高	2,372,812	2,433,455
その他の営業収益	1,198,127	1,226,500
営業収益合計	3,570,939	3,659,955
営業原価		
売上原価	1,796,099	1,808,403
その他の原価	332,469	332,639
営業原価合計	2,128,569	2,141,043
売上総利益	1,442,370	1,518,912
販売費及び一般管理費	1,385,717	1,512,967
営業利益	56,652	5,944
営業外収益		
受取利息	5,308	4,993
為替差益	1,415	89
債務消滅益	—	16,071
その他	670	1,183
営業外収益合計	7,394	22,338
営業外費用		
支払利息	11,580	6,409
貸倒引当金繰入額	25	105
株式交付費	—	1,577
新株予約権発行費	—	4,839
支払補償費	—	3,909
その他	2,342	3,790
営業外費用合計	13,948	20,632
経常利益	50,097	7,650
特別利益		
関係会社株式売却益	25,640	—
負ののれん発生益	—	2,780
特別利益合計	25,640	2,780
特別損失		
固定資産除却損	0	2,744
特別損失合計	0	2,744
税金等調整前四半期純利益	75,737	7,685
法人税、住民税及び事業税	26,938	34,502
法人税等調整額	—	△1,153
法人税等合計	26,938	33,348
四半期純利益又は四半期純損失(△)	48,798	△25,663
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	48,798	△25,663

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	48,798	△25,663
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3,393	△702
その他の包括利益合計	3,393	△702
四半期包括利益	52,192	△26,366
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52,192	△26,366

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				
	プライズ	不動産関連	コンテンツ	イベント	マスター ライツ
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,012,321	1,142,247	58,153	159,585	142,752
その他の収益(注)3	—	55,880	—	—	—
外部顧客への売上高	2,012,321	1,198,127	58,153	159,585	142,752
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,012,321	1,198,127	58,153	159,585	142,752
セグメント利益又はセグメント損失(△)	162,329	55,650	△11,350	△3,705	△10,151

(単位:千円)

	合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
売上高			
顧客との契約から生じる収益	3,515,059	—	3,515,059
その他の収益(注)3	55,880	—	55,880
外部顧客への売上高	3,570,939	—	3,570,939
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	3,570,939	—	3,570,939
セグメント利益又はセグメント損失(△)	192,771	△136,119	56,652

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△136,119千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益は、不動産賃貸収入であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年1月1日至2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント						
	プライズ	不動産関連	コンテンツ	イベント	マスターライツ	AI関連	物流関連
売上高							
顧客との契約から生じる収益	2,110,190	1,175,458	60,615	74,042	136,643	22,200	29,763
その他の収益(注)3	—	51,042	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,110,190	1,226,500	60,615	74,042	136,643	22,200	29,763
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,110,190	1,226,500	60,615	74,042	136,643	22,200	29,763
セグメント利益又はセグメント損失(△)	175,516	△19,669	△13,026	△26,996	△3,045	16,002	16,204

(単位:千円)

	合計	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
売上高			
顧客との契約から生じる収益	3,608,913	—	3,608,913
その他の収益(注)3	51,042	—	51,042
外部顧客への売上高	3,659,955	—	3,659,955
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	3,659,955	—	3,659,955
セグメント利益又はセグメント損失(△)	144,985	△139,040	5,944

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△139,040千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. その他の収益は、不動産賃貸収入であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、第1四半期連結会計期間より新たにAI関連事業を開始したことに伴い、報告セグメントとして「AI関連」事業を追加しております。また、2024年8月1日付で、株式会社エムの株式を取得したことにより、当第3四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。これに伴い、当第3四半期連結会計期間より「物流関連」事業を新たに報告セグメントに追加しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報を当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分方法により作成した情報については、前第3四半期連結累計期間にAI関連事業及び物流関連事業を行っていなかったことから、開示を行っておりません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「物流関連」セグメントにおいて、株式会社エムの株式を取得し連結子会社としたことにより、負ののれん発生益を認識しております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、2,780千円であります。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、行使価額修正条項付第11回新株予約権の権利行使による新株発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ288,908千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が298,908千円、資本剰余金が753,427千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	12,851千円	21,973千円

(収益認識関係の注記)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は「注記事項（セグメント情報等の注記）」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象の注記)

(連結子会社の異動)

当社は、2024年10月1日開催の取締役会において、賃貸物件における賃貸家賃保証業務等の事業を営む当社の連結子会社（特定子会社）である日本賃貸住宅保証機構株式会社（以下、「日本賃貸住宅保証機構」という。）の株式の全部を、日本賃貸住宅保証機構の代表取締役である吉田生喜氏が代表社員を務める、みらい再生支援機構合同会社へ譲渡することを決議しました。また、同日付で株式譲渡契約を締結し、保有する日本賃貸住宅保証機構の全ての株式（2,627株）を196,400千円で売却を行いました。当社は、株式譲渡に伴って認識する売却益約66,980千円を、当連結会計年度の連結損益計算書上、関係会社株式売却益として計上する見込みです。本件譲渡に伴い、日本賃貸住宅保証機構は当社の連結対象から除外されることとなります。

(第11回新株予約権の権利行使等)

当第3四半期連結会計期間末日後、当社が2024年7月22日に発行した第三者割当による第11回新株予約権（行使価額修正条項付）について、2024年10月1日から2024年10月11日までの間に、以下のとおり権利行使が行われております。なお、2024年10月11日をもって当該新株予約権の権利行使が全て完了しております。

(1) 行使された新株予約権の個数	30,880個
(2) 発行した株式の種類及び株式数	普通株式 3,088,000株
(3) 行使価額の総額	475,946千円
(4) 資本金の増加額	238,235千円
(5) 資本準備金の増加額	238,235千円

(注) 1. (4) 資本金の増加額及び(5) 資本準備金の増加額には、新株予約権の振替額がそれぞれ262千円含まれております。

2. 上記の新株予約権の行使による新株の発行の結果、当社の2024年10月11日時点の発行済株式総数は、43,687,704株、資本金は537,144千円、資本準備金は729,779千円となっております。